

新しい時代が薫る「文化講演会」 「宮本百合子の『播州平野』が語りかける 今」

— 新しい戦前にさせない、文化が薫る新しい時代へ —
— 文芸評論家 澤田章子氏を迎えて —
(日本民主主義文学会会員
「多喜二・百合子研究会」運営委員)

日 時 10月26日(土)

午後1時30分開場 2時開会

会 場 日本共産党京都府委員会
5階ホール(参加費無料)

主 催 日本共産党京都文化後援会



戦後78年目、憲法違反の悪政と戦争への暴走という困難を乗り越えて今、政治革新へ気運が高まっています。しかも、日本共産党は創立102年、未来への新しい前進を開始しています。

戦前の最も困難な時代の国家権力に立ち向かって次の時代を準備した党员作家、宮本百合子の姿は、今を生きる私たちへの限らない励ましになると考え、文芸評論家澤田章子氏を迎えて、京都文化後援会としてはじめての「文化講演会」を企画いたしました。

文化後援会参加の「日本民主主義文学会京都支部有志後援会」・「新俳句人連盟京都支部有志後援会」・「京都詩人の会」の文芸3後援会が企画を担当し広くみなさんによびかけます。

同じ時を生きるみなさん、どなたでもご参加いただけます。みなさんのご参加を心よりお待ちしております。ご来場いただいた方には、会場にてカンパをお願いします。

宮本百合子(1899～1951年)17歳で『貧しき人々の群』を発表。

戦前、日本プロレタリア作家同盟に加盟。婦人問題と文化戦線の先頭に立つ。31年日本共産党に入党。宮本顕治と結婚(12年間:獄中の夫と共に闘う)。文化団体への弾圧で健康を損なうが、思想信条を守り通す。戦後は『十二年の手紙』『播州平野』『道標』など、反戦・平和の言論活動に心を傾け51歳の若さで没。



写真集
「百合子」
—文学とその生涯—

連絡先 「文化講演会」担当事務局

菱崎 博 (日本民主主義文学会京都支部有志後援会)

☎ 075-882-2480 mail— saga-ryohaku123@pearl.ocn.ne.jp

伊藤哲英 (新俳句連盟京都支部有志後援会)

☎ 090-6732-0525 mail— norihide@mvh.biglobe.ne.jp

江村裕之 (文化後援会事務局)

☎ 080-3821-9543 mail— poem92@kyoto.zaq.ne.jp

西山とき子 (文化後援会事務局)

☎ 090-3992-4847 mail— tokikonishiyama@outlook.com